

# 令和元（2019）年度 栃木県浙江省友好交流員レポート(10月)

栃木県浙江省友好交流員 工藤瑠璃

## 国慶節

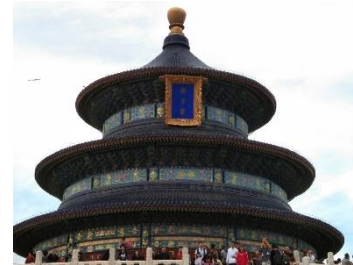
国慶節とは、中国の祝日の1つで、今年は10月1日となり、10月1日から10月7日が休日期間でした。国慶節当日の10月1日は朝からスマートフォンが生中継の知らせを通知し、学校内でもパブリックビューイングのような会場があり多くの学生が会場に足を運んでいました。



国慶節の間、多くの学生はどこに行っても混雑することを知っているのですが、私は前半のんびりと学校周辺で過ごし、10月3日から友人2人とともに北京へ旅行に行くことを計画しました。北京では、天安門広場や慕田峪長城、盧溝橋、天壇などの主要な観光地に行きましたが、どこも時間を選べばスムーズに過ごせるという印象でした。特に慕田峪長城は早朝に出発したため、人が少なく、スムーズだったように思います。



北京では公共交通での決済で利用できるスマホアプリが異なるため、少し苦戦しました。違った都市に行く際には、その都市の公共交通の料金支払い方法を調べておくとより良いのだと学びました。



また、杭州と比べ、北京の都市部では空気が悪く乾燥しているため、人によってはマスクなど対策が必要かもしれません。



## 選択科目

選択科目は、半年間で2つ受講することができます。9月から11月初旬までに1つ、11月以降に1つ選択することができます。私は **Hand Knitting** を選択し、週に一回受講しています。毎回の授業で必ず一作品作ることができるので、とても満足感があり、毎週楽しく授業に臨んでいます。手を使って作品を完成させることに集中することができ、授業の中でクラスとは別に友人を作ることもできるので、大変良いリフレッシュの時間にもなっています。

私が選択した科目の他にも、**HSK (※)** 特訓クラス、杭州文化、書道、カンフー、絵画など様々な授業



があります。どの授業も皆さん楽しんでいる様子でした。

クラスのレベルによって選択できない科目も少しありました。また、必修科目の授業時間と被ってしまい、希望の科目を受講できない場合もあります。

選択科目には、テストが有るもの、無いものがあります。Hand Knitting ではテストは有りませんでした。



※漢語水平考試：中国政府が認定する国際的な中国語の語学検定試験。中国語を母語としない者が対象。

## クラスメートとの交流

授業中のグループワークや複数人で行う宿題では、クラスメートとのコミュニケーションが大変重要です。欧米の学生は筆記が苦手な分、リスニングやスピーキングができ、且つ積極的なので、英語、中国語が流暢でない私にとってはコミュニケーションの難しさを感じる事が多々あります。今も試行錯誤の毎日ですが、中国語をより多く聞き、より多く話すことが、打開の近道だと考え、生活しています。積極的なクラスメートたちからの影響もあり、最近は授業中に必ず発言するよう心がけています。

また、中国に来てから、自分が発音を疎かにしていたと感じることも多いので、正しい発音を意識していきたいです。クラスメートたちが話す中国語を聞いていると、国によって発音の癖がそれぞれ異なると感じており、それらに対応する先生方も大変だと思います。

先生方の中には、日本語を話せる方も時々いらっしゃるようです。授業中に日本語を話すことは、ほぼありませんが、一度だけ私が言いたいことを確認する意味で、先生が一言だけ日本語を話しました。先生が日本語を話せるとは思っていなかったのもとても驚きましたが、私たち留学生が中国語を学ぶための環境についても考えてくださっていると感じました。

